

クラス：C

グループ：4

選んだケース：ケース3

1. レディネスとニーズ分析

1)

在留資格	技能実習第3号（団体監理型）
在留資格移行見通し	技能実習3号（現在）⇒特定技能1号
日本滞在歴	4年目
職種	食品製造関係 そう菜製造業（そう菜加工） ⇒飲食料品製造業
国籍、人数内訳、学歴等	インドネシア（20名） 大卒：5名（26～28歳）／高卒：15名（22～25歳）
日本語学習歴	入国前研修：160時間 入国後講習：160時間
日本語能力等	職場や日常生活における基本的なコミュニケーションを図ることはできるが、少し複雑な局面や配慮が求められる場面で、言語活動の目的を果たすことは難しい。聞き取りについては、業務や生活などで日常的に行われるコミュニケーションにおいては、特に相手が話し方やスピードに配慮しなくても、聞き取ることが可能。 業務上でしばしば目にする言葉については、漢字語彙であっても読んで意味を理解することができるが基本的に漢字は苦手で、申し送りの記入等はほぼ、ひらがなで行っている。
就労状況	月曜日～金曜日 9:00～18:00 まで勤務 ※土曜日は不定期で出勤の場合あり
学習期間 学習時間数	6か月 週2回・平日：19:00～20:30／日曜日：昼間に2時間
ニーズ・所属機関の要望等	【受入企業からの依頼】 実習生は総じてコミュニケーション力の水準が低く、職場の同僚や上長との良好かつ円滑な人間関係構築ができず、また日常生活においてもスムーズにいかないことが多い。中には日本での生活に強いストレスを感じている実習生もいる。なかなか業務に集中できず作業効率が上がらないことを通して、自分自身で生活環境の向上を図ることができるようになってもらいたい。
その他	実習生は全員スマートフォンを持っている。全員がPCを持っているかどうかは不明。寮にWi-Fi環境有り。

2) 学習者のニーズ・研修依頼者のニーズ

- (1). 職場における円滑な人間関係が構築できるようなコミュニケーション力をつける
- (2). 日常生活においても、円滑な人間関係を構築し、生活環境を向上させるためのコミュニケーション力をつける

2. シラバスデザイン

1) 授業時間数	6か月 週2回(平日:19:00~20:30/日曜日:昼間に2時間)
2) コースの方針	<ul style="list-style-type: none"> ・タスクベース中心の教授法を用いて、他者と良好な人間関係を構築できる力を身に付けさせる。ただし、漢字に関してはボトムアップ式で進める ・自律学習の習慣を身に付けさせる
3) 到達目標	<p>職場や日常生活において、日本人と円滑な人間関係が構築できるようになる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に配慮した表現が適切に使えるようになる 例) 誘われたとき、上手に断れる ・困難な場面に直面した場合、他者に頼ることなく、自力で解決することができるようになる 例) 困ったときに相談ができる ・日本人と気楽に話せるようになる 例) おしゃべりや雑談ができる <p>※『いろどり』の Can-do</p>
4) 学習内容	<p>【会話】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化的背景も含まれた職場の場面会話を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> －確認、聞き返し －報告・連絡・相談 ・文化的背景も含まれた生活の場面会話を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> －誘い －マナー －好みの伝え方 <p>【漢字】</p> <p>◎初級漢字</p>
5) 教材	<ul style="list-style-type: none"> ・『いろどり』入門、初級1、初級2 ・『いろどり』App ※自律学習に使用する

3. カリキュラムデザイン (学習計画および学習目標)

回	授業の内容	学習目標など	教材
1週目 (①平日の90分+ ②日曜の120分)	<p>①『いろどり』をベースにしたプレイスメントテスト ロールプレイを行う。(自己紹介、タスクベース会話)</p> <p>②オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コースについて※目標、内容など ・教材(いろどり 入門・初級1・初級2) <p>APP (IRODORI Practice)の紹介とダウンロード</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者自身が今の自分の実力を知り、日本語学習を見直す ・学習者がこれから何をどう勉強するのか、何のために勉強するのか、コース終了後も自律学習を続けられることを知る 	<p>「いろどり入門」 「いろどり初級1」 「いろどり初級2」 App「IRODORI Practice」</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の自己評価方法について ・自律学習について ・・・・・・・・・・・・・・・・ <p>2週目から漢字に関しては毎週『いろどり入門』を1課ずつ行う。</p> <p>会話に関しては『いろどり』を入門、初級1、初級2をそれぞれ、1課から順番に扱うのではなく、プレイスメントの結果や学生の様子あるいは学生からのニーズ、リクエストなどを考慮して柔軟にあつかっていく。その過程で初級文法で欠けている部分があることがわかれば、それも取り上げていく。</p>		
<p>2週目</p> <p>(①平日の90分+</p> <p>②日曜の120分</p>	<p>①漢字 入門-3課 導入</p> <p>会話 入門-12課</p> <p>「飲みに行きませんか」</p> <p>②漢字 入門-3課 小テスト</p> <p>〃 -4課 導入</p> <p>会話 初級1 - 7課</p> <p>「道に迷ってちょっと遅れます」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手を誘ったり、誘われたりしたとき、自分の都合を言うことができる ・待ち合わせに遅れることを伝えることができる 	<p>「いろどり入門」</p> <p>「いろどり初級1」</p>
<p>3週目</p> <p>(①平日の90分+</p> <p>②日曜の120分</p>	<p>①漢字 入門-4課 小テスト</p> <p>入門 - 5課 導入</p> <p>会話 入門 - 5課</p> <p>「うどんが好きです」</p> <p>②漢字 入門 - 5課 小テスト</p> <p>〃 -6課 導入</p> <p>会話 初級2 - 3課</p> <p>「アレルギーがあるので、食べられないんです」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物の好き嫌いを答えることができる ・一緒に食事をする人や店の人に、自分が食べられないものと、その理由を伝えることができる 	<p>「いろどり入門」</p> <p>「いろどり初級2」</p>
<p>4週目</p> <p>(①平日の90分+</p> <p>②日曜の120分</p>	<p>①漢字 入門-6課小テスト</p> <p>入門-7課導入</p> <p>会話 入門-9課</p> <p>「12時から1時まで昼休みです」</p> <p>②漢字 入門-7課 小テスト</p> <p>入門-8課導入</p> <p>会話 入門-10課</p> <p>「ホチキス貸してください」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日程を決めるために、都合を尋ねあうことができる。 ・職場で指示を受けた時、大切な点を確認したり、聞き返したりすることができる。 	<p>「いろどり入門」</p>

5 週目	①漢字 入門-8 課 小テスト 入門-9 課 導入 初級 1-13 「あと 10 分ぐらいでおわりそうです」 ②漢字 入門-9 課 小テスト 入門-10 課導入 会話 初級 1-14 「休みを取ってもいいでしょうか」	・職場で困ったことがあったとき、上司などに状況を伝えることができる。 ・仕事の作業状況を聞かれたとき、簡単に答えることができる。 ・職場に、電話で休みや遅刻の連絡をすることができる。 ・仕事の持ち場を離れるとき、周りの人の許可を求めることができる。	「いろどり入門」 「いろどり初級1」
6～23 週目	※2～5 週目同様※		
24 週目	①評価試験 ・教師とのロールプレイで行う ② ・評価試験のフィードバック ・今後の自律学習についての確認 ・(できれば) 企業関係者との交流会	・自己成長を感じ、自信にする ・自律学習を継続する	

4. 評価

1) 評価項目

下記2)にあるように学習者と教師の一对一でのロールプレイを行うという方法で評価を行うが、以下の10項目についてそれぞれ5段階で評価をする。

- ①タスク達成度
- ②流暢さ
- ③談話構成
- ④語彙
- ⑤文法
- ⑥発音
- ⑦相手に配慮した言い方ができているか
- ⑧話すスピード
- ⑨声の大きさ
- ⑩態度(目を見て話せているか など)

2) 評価方法

- ・ロールプレイ(学習者-教師)

上記の10項目について5段階で評価するので合計点50点満点となる

以上